



ND

わたしらしく、誇らしく
Be Notre Dame, Be Myself

京の雅・冷泉家の
八〇年とこれから

日時
2024年
6月1日(土)
14:00-16:00 <開場 13:30>

講演者

二條 絵実子 NIJO, Emiko

現職：冷泉家時雨亭文庫 調査員
同志社大学宮廷文化研究センター 嘱託研究員
神戸学院大学 非常勤講師
京都光華女子大学 非常勤講師

写真提供：公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫

場所 京都ノートルダム女子大学
ユーヅニア館 ND ホール

参加
無料

事前申し込みは不要です。どなたでも参加できます。
(途中入退室可能)

〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1 [交通アクセス]京都市営地下鉄烏丸線北山駅1番出口から東へ徒歩7分

主催/京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
後援/京都市、京都新聞

<https://www.notredame.ac.jp/>

京の雅・冷泉家の八〇〇年とこれから

2024年6月1日(土) 14:00~16:00(13:30開場)

冷泉家は藤原俊成・定家を祖とする和歌の家です。現在でもお正月の歌会始や七夕の行事である乞巧奠(きっこうてん)など、様々な年中行事を執り行っています。伝統の装束をまとうて執り行うようすや、和歌を詠じる披講のもようは、新聞記事やニュースでご覧になったかたもいらっしやるかもしれません。

冷泉家の屋敷は、約400年前から変わらず御所の北側に位置しています。敷地内の住宅は、公家屋敷として完全な姿で現存する唯一の建造物として重要文化財に指定されています。また、敷地内の蔵「御文庫」には、俊成自筆の歌論書『古来風躰抄』や定家の日記『明月記』など数多の典籍や古文書が伝わります。

これら冷泉家に伝わる建物や典籍類の保存及び公開を図るとともに、冷泉流歌道と種々の行事を継承していくことを目的に、昭和56年に冷泉為任によって財団法人冷泉家時雨亭文庫が設立されました。財団設立から四十余年が経過し、現在、冷泉家時雨亭文庫では、「北の大蔵」という新しい蔵を建設しています。未来に向けての新たな挑戦でもあります。

この講座では、財団の調査員が、冷泉家伝統の四季を彩る年中行事について、そして、現在建設している「北の大蔵」の話を交えつつ文化財保護について講話いたします。

『古来風躰抄』や『明月記』の成立からおおよそ800年が経過し、それらの年月、新たに増えていく書物とともに守り伝えてきたわけですが、さらに次の800年、1000年、次の世代へ伝えていかねばなりません。伝統文化といえ、いにしえを語ることが多い領域ですが、今回は、旧きことも未来のことも考える講座です。雅なる世界と、それを支えていく文化財の保存と、ともども味わっていただければ幸いです。



写真提供：公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫

講演者

二條 絵実子 NIJO, Emiko

現職：冷泉家時雨亭文庫 調査員
同志社大学宮廷文化研究センター 嘱託研究員
神戸学院大学 非常勤講師
京都光華女子大学 非常勤講師

略歴：佛敎大学文学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科修了。修了後、関西の中高、大学で非常勤講師を勤める。2013年からの3年間はノートルダム女学院中学高等学校で国語科の非常勤講師として勤務。

主な活動・研究業績：母の実家である冷泉家の財団、冷泉家時雨亭文庫にて学生時代から事務局のアルバイト職員として勤務。冷泉家に伝わる歌会始や乞巧奠などの年中行事の準備、例年秋に実施される特別公開や冷泉家時雨亭文庫の会員見学会の運営にあたるほか、多岐にわたる業務をこなす。近年は次世代に伝統文化を伝える試みとして、高校へ冷泉流の和歌を指導する出前授業の講師としても活動している。

対談者

岩崎 れい IWASAKI, Rei

現職：京都ノートルダム女子大学 国際言語文化学部 国際日本文化学科 教授

略歴：東京大学卒業、東京大学大学院博士課程満期退学(教育学修士)。2012年より現職。文部科学省読書コミュニティ拠点形成支援事業協力者会議座長、京都市図書館協議会会長なども務めた。現在、国際図書館連盟アジア・オセアニア地域部会内の貴重書に関するグループで活動中。

専門分野：図書館情報学

主な著書：『Global Action for School Libraries: Models of Inquiry(分担執筆)』
『レファレンスサービスの射程と展開』(分担執筆)

蜂矢 真弓 HACHIYA, Mayumi

現職：天理大学人文学部国文学国語学科准教授
京都ノートルダム女子大学 国際言語文化学部 国際日本文化学科 非常勤講師

略歴：奈良女子大学卒業、奈良女子大学大学院博士前期課程修了、大阪大学大学院博士後期課程修了、博士(文学)、大阪大学大学院文学研究科助教、京都ノートルダム女子大学国際言語文化学部国際日本文化学科講師を経て、2024年度より現職。

専門分野：国語学

主な著書：『上代学論叢』(共著) 『論集 古代語の研究』(共著)
『上代のことばと文字』入門』(共著)

国際言語文化学部 国際日本文化学科

伝統文化からサブカルチャーまで 京都を舞台に実践的に学ぶ

興味あることを糸口に「日本文化」「国際文化」の理解を深めます。同時に修得するのは表現力。的確な表現方法で日本と世界をつなぐ人材を育成します。2024年度から、観光実務士資格を取得できるようになりました。その他、プレゼンテーション力を培うプログラムや、観光の知識とホスピタリティを養うプログラム、資格関連科目で就職に役立つ力を身につけます。

●話しことばプログラム

社会人に必要なプレゼンテーション能力を向上させ、ビジネスマナーを学びます。

●国際観光プログラム

国際観光都市・京都で課題解決力やホスピタリティを育みます。

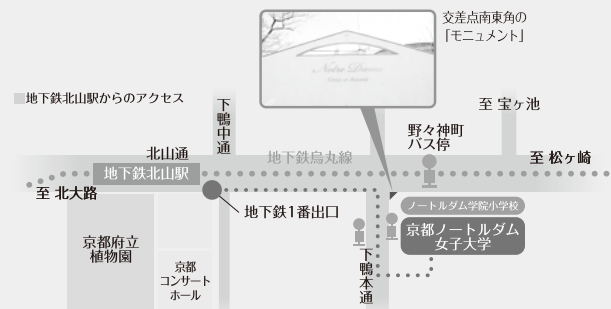
学科のことが全部わかる!



国際日本文化学科のオリジナルサイトにアクセスしてください!

国際日本文化学科公式サイト

<https://www.notredame.ac.jp/ningen/about/index.html>



交通ACCESS ●京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」①番出口より徒歩7分(北山通を東へ→下鴨本通を小学校・大学に沿って南へ→1つ目の角を東へ)
●市バス4号系統「野々神町」下車すぐ。
もしくは、「北園町」下車 北へ徒歩5分

問合せ先/ 京都ノートルダム女子大学 研究推進課

TEL.075-706-3789 FAX.075-706-3793

E-mail: kenkyu@ml.notredame.ac.jp